

2006 アレス グーテ
アルペンスノーボード大会 GSL・SL

2006 Alles Gute Alpine Snowboard
Competition GSL / SL in Sanosaka

NPOアラヌエボ

NPO法人 アラヌエボ

- 2005/4/6 NPO法人 アラヌエボ設立
 - サッカー教室 (Kids ~ シニア) 186名
 - 保育園へのサッカーKidsキャラバン (小谷・白馬・美麻・鬼無里)
 - クラブハウス・サッカーグラウンドの建設
 - SO及び障害者スノーボード・スキーサポート
 - 国際交流事業のサポート及び実施 (ドイツ・ザクセン州：オーバービーゼンタール市等)
 - 地域に根付くスポーツ文化の発信の場としての活動や、低迷している白馬の観光、経済活動の活性化の目的のために、上記の活動をしています。

アレス グーテとは

- アレス グーテ (Alles Gute) とはドイツ語で、すべてよしという意味です。スノーボードというあまり形にとらわれないスポーツを通じて、健常者・不登校者・知的障害者、選手もビギナーもすべての人たちが、ひとつの競技を行うことで、お互いの存在意義を確認し、相手を思いやる気持ち、助け合う心、我慢すること、それぞれの大切さを感じてもらいたいという意味を込めて、「アレス グーテ スノーボード大会」と名前をつけました。

主なスタッフ プロフィール

- 牛山 奈穂美 Naomi Ushiyama
 - 2003～ 「スペシャルオリンピックス(SO)」ドリームサポーター
 - 2003 SOのプレ大会体験プログラムスノーボード講師
 - 2004～ 知的障害を持つ子供にスノーボード指導を始める
 - 2005 ドキュメンタリー映画「believe」撮影に、合宿のコーチとして参加
 - 2005 SO長野大会体験・交流プログラムスノーボード講師
- 山口 征喜 Masayoshi Yamaguchi
 - 2000～ 白馬村スノーボードジュニアヘッドコーチに就任
 - 2005 映画「believe」撮影協力
 - 2004～ SO長野大会体験交流プログラムゲストコーチ
- 義煎 信也 Shinya Yoshiiri
 - 1979～ 八方尾根スキースクール
長野県スキー連盟委員
スキー教室にて、聾啞者講師、特別学級講師等を経る
 - 1996～ ジャンプ・ノルディックジャンプ国際大会 競技役員
 - 1998 長野オリンピック スペシャルジャンプ・ノルディックジャンプ 競技役員
 - 2005 NPO法人アラヌエボ理事長

主なスタッフ プロフィール

Cont.

- 中村 光志 Mitsushi Nakamura
白馬さのさかスキースクール校長
全日本スキー連盟役員
長野県スキー連盟理事
白馬村スキー連盟理事
1996～ ジャンプ、ノルディックジャンプ競技国際大会 競技役員
1998 長野オリンピック ノルディックジャンプ競技 競技役員
2005 NPO法人アラヌエボ理事
- 野田 岳人 Taketo Noda
1980～ 八方尾根スキースクール
八方尾根スノーボードスクール校長
全日本スキー連盟委員
長野県スキー連盟委員
白馬村スキークラブ理事
2005 NPO法人アラヌエボ理事
- 八木 淳彦 Atsuhiko Yagi
初級障害者スポーツ指導員
初級キャンプインストラクター指導員
日本サッカー協会公認 C級コーチ

教室か / 大会か

- 教室のメリット・デメリット

ID (Intellectual Disabilities / 知的障害) 者の募集が容易

- 人前に出ることをためらうこともあるようだが、同じ仲間が集まることで克服しやすい

ID者のケアが容易

- 教室としてグループ化すると管理が容易

健常者とのかかわりが少ない (デメリット)

- 大会のメリット・デメリット

ID者の募集が難しい (デメリット)

- SOにたずさわってきたスタッフにより克服できる

ID者のケアが複雑 (デメリット)

- 参加者がケアすることで、思いやりの心を育てる。

健常者、不登校者とID者との協同作業を行える

- 大会当日の準備、片付け(コースセパレート・ポールセット等)を出場選手が行うことによって、お互いの理解を深めることができる。(ID、健常者、不登校者)思いやりの心が生まれる。

2005 アレス グーテ スノーボード大会

・ 参加者募集について(手法・目標)

ID 10名

- ・ SO長野をはじめとした各都道府県SO組織へ募集
2005年 SO長野大会指導のつながりから募集
ホームページ

登校拒否者・高校中退者等 10名

- ・ 登校拒否者・中退者のネットワークを通じて、又は、通信制学校等
へ一般公募・ホームページ

健全者 20名(一般公募)

- ・ 雑誌、新聞等への募集広告・ホームページ

大会からイベントへ(特色)

- スノーボード大会(SL)

2列の同じコースを並列に作り(デュアルレース)それぞれのコースをすべりタイムで競い合います。初心者や、ID、また、ボードの板の種類によって、個々のハンディキャップをタイムのハンディキャップに置き換えることにより、同一コースにて競技することを可能としています。

GSLはシングルレースにて、同様にハンディキャップを使用し行います



- イベント

スノーフラッグ(雪上旗取りゲーム)や雪上サッカー等をスノーボード大会終了後に予定し、スノーボード初心者や、子供、シニア、男女、ID、いわゆる“だれでも”すべての人が楽しめるイベントとしての大会を目指しています。

経費について

- 賃金 12,000 × 4名 × 5日分
- 謝金 9,000 × 15名 × 2日分
 - 大会旗門員、コース整備係、MC(放送担当)、TD、主審等競技役員
- ゲレンデ使用料 60,000 × 2日(ネット含む)
- スポーツタイマー 30,000 × 2日
- PA(音響システム) 15,000 × 2日
- 機材運搬費 5,000 × 2日
- 電話、FAX代金 10,000
- コピー用紙、事務用品 5,000
- プリンターインク代 5,000
- 冊子作成代金 10,000 100部 × 100円
- 広告代金 30,000

- 以上 800,000円

- その他必要経費は、スポンサー現物支給、ボランティアによりまかなう予定